

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第112回)

2024年 10月 ~ 12月期 実績

2025年 1月 ~ 3月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 比較資料編	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2024年12月
- ② 調査対象期間 今期（2024年10月～12月期）に対する前期（2024年7月～9月期）及び前年同期（2023年10月～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全体	270	→	209	77.4 (%)
輸送機器	40	→	32	80.0 (%)
その他製造	40	→	33	82.5 (%)
建設業	50	→	41	82.0 (%)
卸売業	30	→	23	76.7 (%)
小売業	40	→	29	72.5 (%)
サービス業	70	→	51	72.9 (%)

5. D I 値について

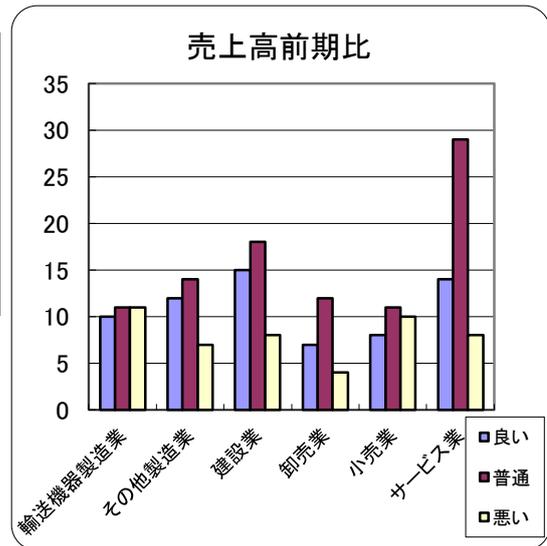
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

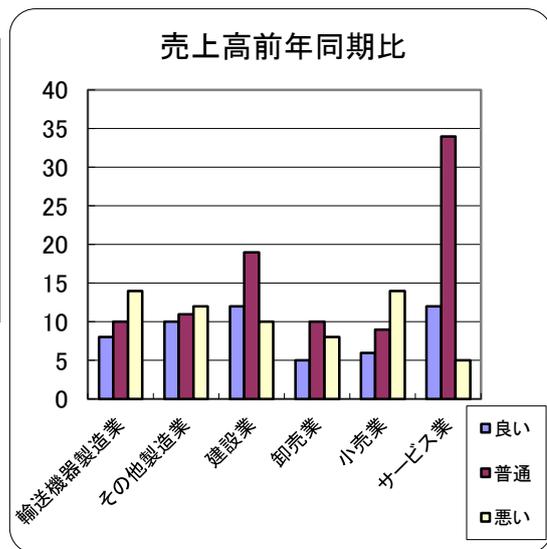
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	10	11	11	32	▲ 3.1
その他製造業	12	14	7	33	15.2
建設業	15	18	8	41	17.1
卸売業	7	12	4	23	13.0
小売業	8	11	10	29	▲ 6.9
サービス業	14	29	8	51	11.8
合計	66	95	48	209	8.6



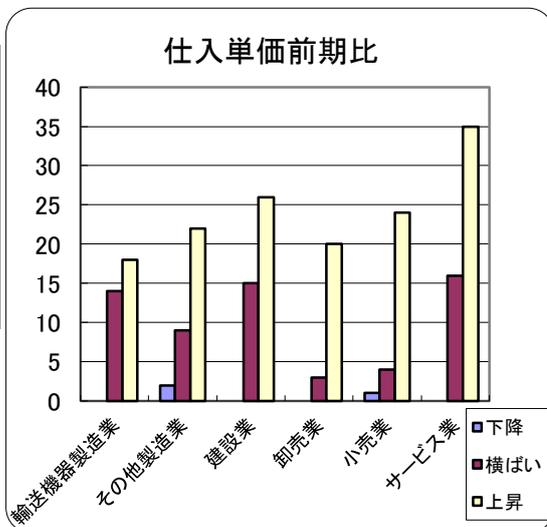
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	10	14	32	▲ 18.8
その他製造業	10	11	12	33	▲ 6.1
建設業	12	19	10	41	4.9
卸売業	5	10	8	23	▲ 13.0
小売業	6	9	14	29	▲ 27.6
サービス業	12	34	5	51	13.7
合計	53	93	63	209	▲ 4.8



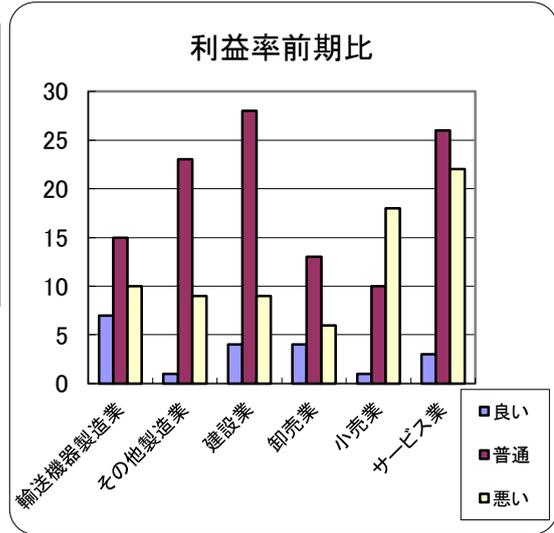
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	14	18	32	▲ 56.3
その他製造業	2	9	22	33	▲ 60.6
建設業	0	15	26	41	▲ 63.4
卸売業	0	3	20	23	▲ 87.0
小売業	1	4	24	29	▲ 79.3
サービス業	0	16	35	51	▲ 68.6
合計	3	61	145	209	▲ 67.9



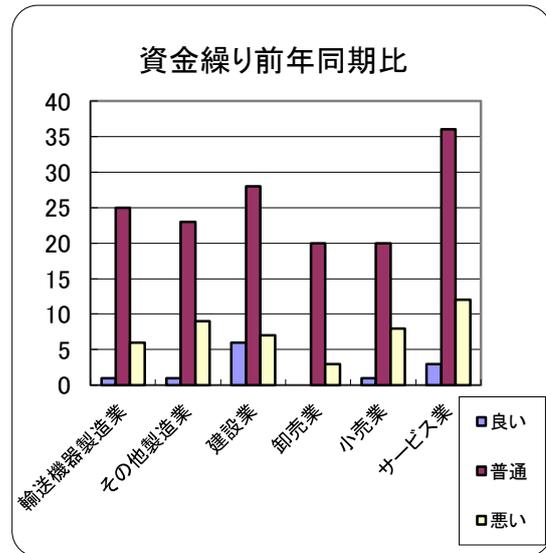
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	15	10	32	▲ 9.4
その他製造業	1	23	9	33	▲ 24.2
建設業	4	28	9	41	▲ 12.2
卸売業	4	13	6	23	▲ 8.7
小売業	1	10	18	29	▲ 58.6
サービス業	3	26	22	51	▲ 37.3
合計	20	115	74	209	▲ 25.8



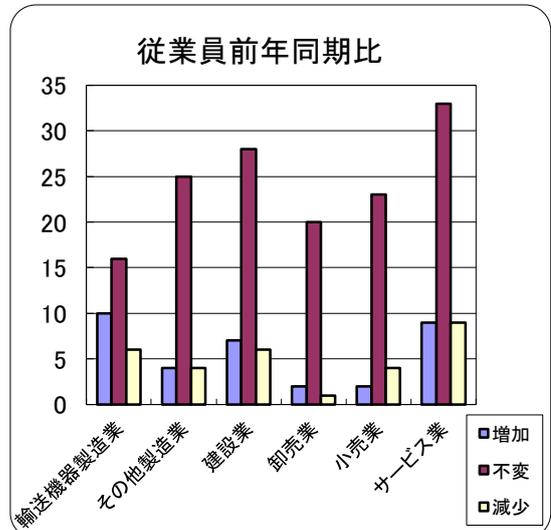
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	25	6	32	▲ 15.6
その他製造業	1	23	9	33	▲ 24.2
建設業	6	28	7	41	▲ 2.4
卸売業	0	20	3	23	▲ 13.0
小売業	1	20	8	29	▲ 24.1
サービス業	3	36	12	51	▲ 17.7
合計	12	152	45	209	▲ 15.8



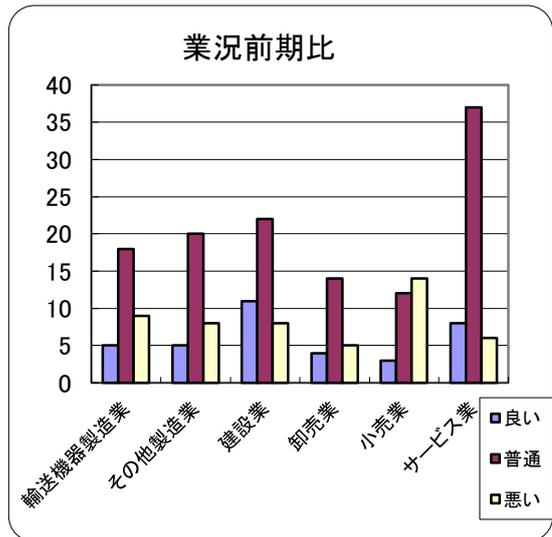
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	10	16	6	32	12.5
その他製造業	4	25	4	33	0.0
建設業	7	28	6	41	2.4
卸売業	2	20	1	23	4.4
小売業	2	23	4	29	▲ 6.9
サービス業	9	33	9	51	0.0
合計	34	145	30	209	1.9



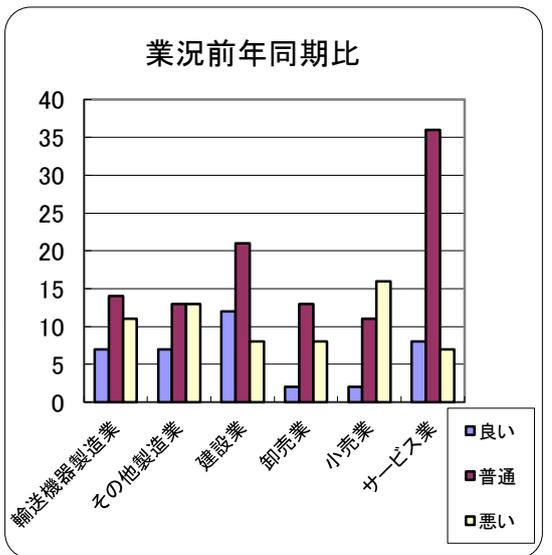
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	18	9	32	▲ 12.5
その他製造業	5	20	8	33	▲ 9.1
建設業	11	22	8	41	7.3
卸売業	4	14	5	23	▲ 4.4
小売業	3	12	14	29	▲ 37.9
サービス業	8	37	6	51	3.9
合計	36	123	50	209	▲ 6.7



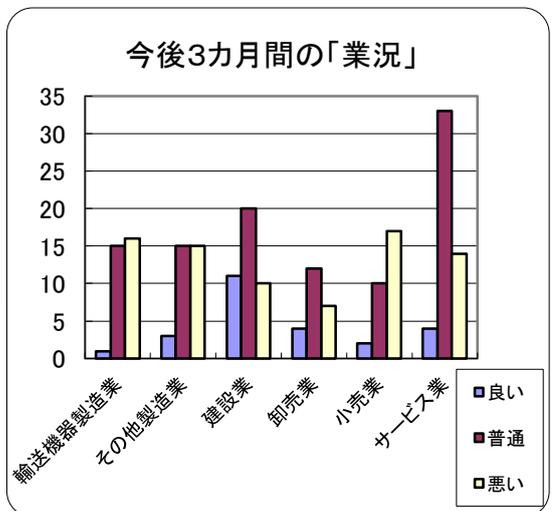
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	14	11	32	▲ 12.5
その他製造業	7	13	13	33	▲ 18.2
建設業	12	21	8	41	9.8
卸売業	2	13	8	23	▲ 26.1
小売業	2	11	16	29	▲ 48.3
サービス業	8	36	7	51	2.0
合計	38	108	63	209	▲ 12.0



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	15	16	32	▲ 46.9
その他製造業	3	15	15	33	▲ 36.4
建設業	11	20	10	41	2.4
卸売業	4	12	7	23	▲ 13.0
小売業	2	10	17	29	▲ 51.7
サービス業	4	33	14	51	▲ 19.6
合計	25	105	79	209	▲ 25.8



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	14.7	▲ 3.1	▲ 17.8
売上高前年同期比	17.7	▲ 18.8	▲ 36.5
仕入単価前期比	▲ 61.8	▲ 56.3	5.5
利益率前期比	▲ 11.8	▲ 9.4	2.4
資金繰り前年同期比	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 12.7
従業員前年同期比	17.7	12.5	▲ 5.2
業況前期比	▲ 2.9	▲ 12.5	▲ 9.6
業況前年同期比	5.9	▲ 12.5	▲ 18.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.7	▲ 46.9	▲ 32.2

[企業コメントより]

- ・手形サイトの短縮により資金繰り悪化予定【油圧系部品】
- ・売上高が減少する見通し【内装部品】
- ・仕事量が1~2割減少している。長期見通しも不安定な感じ。
- ・従業員ではなく、パートを増員して時間別対応にて費用を抑える傾向。
- ・仕事がないわけではないが、採算性が悪い仕事の依頼が多い(手間・価格・内容)【金属管加工】
- ・カーメーカーの減産(特にEV)【内装部品】

その他製造業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.3	15.2	23.5
売上高前年同期比	▲ 5.6	▲ 6.1	▲ 0.5
仕入単価前期比	▲ 58.3	▲ 60.6	▲ 2.3
利益率前期比	▲ 22.2	▲ 24.2	▲ 2.0
資金繰り前年同期比	▲ 27.8	▲ 24.2	3.6
従業員前年同期比	2.8	0.0	▲ 2.8
業況前期比	▲ 25.0	▲ 9.1	15.9
業況前年同期比	▲ 19.5	▲ 18.2	1.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 2.8	▲ 36.4	▲ 33.6

[企業コメントより]

- ・温暖化のため需要が少ない【ニット製品製造】
- ・(業況の改善は)引合・受注共に増加しているため【省力化機械】
- ・2024年の春くらいから発注すると言われていたが、延期を重ね、やっと自動車関係の仕事が12月に入り動き出した。また、新聞の取材記事として掲載して頂いたら、太田市の同業企業様とつながり、お仕事を頂けるようになった。おかげで前期より売上が伸びた【プラスチック製品加工】

建設業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	14.3	17.1	2.8
売上高前年同期比	23.8	4.9	▲ 18.9
仕入単価前期比	▲ 71.4	▲ 63.4	8.0
利益率前期比	▲ 4.8	▲ 12.2	▲ 7.4
資金繰り前年同期比	▲ 9.5	▲ 2.4	7.1
従業員前年同期比	0.0	2.4	2.4
業況前期比	4.8	7.3	2.5
業況前年同期比	9.5	9.8	0.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 7.2	2.4	9.6

[企業コメントより]

・資材高騰(が厳しい)【土木工事】

・従業員について。今年入社した社員4名のうち 3名がやめてしまった。また、就職してから5年未満の社員が3名やめてしまった【総合建設業】

・建築の伸びと、発注価格の伸びが重なっている(ため売上増)【電気工事】

卸売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	4.3	13.0	8.7
売上高前年同期比	▲ 13.0	▲ 13.0	0.0
仕入単価前期比	▲ 82.6	▲ 87.0	▲ 4.4
利益率前期比	▲ 21.7	▲ 8.7	13.0
資金繰り前年同期比	▲ 4.4	▲ 13.0	▲ 8.6
従業員前年同期比	4.4	4.4	0.0
業況前期比	▲ 13.0	▲ 4.4	8.6
業況前年同期比	▲ 13.0	▲ 26.1	▲ 13.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 4.4	▲ 13.0	▲ 8.6

[企業コメントより]

・(業績向上は)営業マンのプランアンドレビューの理解が浸透し、行動に出てきた結果ではないか？
【医療介護機器卸】

・人件費の高騰などによる人手不足の影響が一定割合あります【再生資源卸】

・全般的な物価上昇(が厳しい)【生活関連サービス用品卸】

・2025年4月より大手酒類メーカー各社価格改定(値上げ)が予想され、仮需効果と利益率改善が特に業界にて急務である状況です【飲料卸売】

・今後、下請法の影響により資金繰りを注視する必要があると思います【金型部品卸】

・売上高は順調に推移しているが、値上転嫁が進んでおらず、売上高総利益率は悪化。ただし、医療へのニーズは引き続き一定水準で見込めることから、昨年と同程度以上の業績は確保できる見込み。
【医療機器卸】

小売業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.4	▲ 6.9	3.5
売上高前年同期比	▲ 13.8	▲ 27.6	▲ 13.8
仕入単価前期比	▲ 75.9	▲ 79.3	▲ 3.4
利益率前期比	▲ 48.3	▲ 58.6	▲ 10.3
資金繰り前年同期比	▲ 24.1	▲ 24.1	0.0
従業員前年同期比	▲ 17.2	▲ 6.9	10.3
業況前期比	▲ 20.7	▲ 37.9	▲ 17.2
業況前年同期比	▲ 24.1	▲ 48.3	▲ 24.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 27.6	▲ 51.7	▲ 24.1

[企業コメントより]

- ・昔から続けている業務については下降もしくは現状維持。今年から始めた事が売上高・利益率を支えている。常に新しい事に目を向けないと厳しい【中古車販売】
- ・売上高はコロナ前に比べてかなり回復してきましたが、仕入単価・諸経費・人件費の上昇のため、利益につながっていません。今後、近隣に大型店舗やアクセス道路(工事を含む)などの変化が起こると、既存のビジネスモデルに依存している企業にとっては、マイナス要因となることが懸念されます。
【化粧品・小物販売】
- ・暖冬なので、HOTに関する商品が売れない。かといって冷たい商品も売れない。寒くなってお酒が売れることを望んでいます【飲料販売】
- ・依然として予想を上回る高値での取引が続いている。当面の下げ材料は見当たらない状況【米穀販売】
- ・新製品や工夫で売上は上がっているが、契約先の条件が厳しくなり利益は変わらない、倍動いて同じ(利益)。これだけ世の中では賃上げが叫ばれているなかで個人事業主とは…やりたいことをやっていることとお客様に感謝を持って生き甲斐として働き続けたいと思う【化粧品販売】
- ・売上高的には若干のプラスだが！アマゾンサイトの価格競争が激化して来ている。そのため、アマゾン店の売上・利益共にダダ下がりしている。どうしたものか？【嗜好品販売】

サービス業	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	16.7	11.8	▲ 4.9
売上高前年同期比	16.7	13.7	▲ 3.0
仕入単価前期比	▲ 62.5	▲ 68.6	▲ 6.1
利益率前期比	▲ 22.9	▲ 37.3	▲ 14.4
資金繰り前年同期比	▲ 20.8	▲ 17.7	3.1
従業員前年同期比	10.4	0.0	▲ 10.4
業況前期比	4.2	3.9	▲ 0.3
業況前年同期比	0.0	2.0	2.0
今後3ヶ月間の業況見通し	8.3	▲ 19.6	▲ 27.9

[企業コメントより]

- ・人件費の高騰【情報】
- ・景況感はいいいとも言えないが、悪いとも言えない。アメリカがトランプ政権になり、為替の変化や関税などの強化が市場をどう変化させてしまうのか、が心配である【広告】
- ・利益率がどんどん下がっている【レストラン】
- ・ケータリング業務も若干活気が出てきた感があります。期待大です。
- ・とにかく材料費高騰が悩みの第一要因です。商品値上げしかないのでしょうか？もう少し企業努力かな！
【ケータリング】

- 製造業の生産状況が悪く、生産時発生するはずのスクラップが極端に出てこない。生産状況が良くない原因の主は定かではないが、人手不足が一番の理由だろうか。または中国経済の停滞による輸出の出荷が鈍っているのだろうか。主の原因を知りたいところである。いつ頃トンネルを抜けるのか【資源回収】
- 前年同期より客単価が減少している【美容院】
- とにかく食材から消耗品から何もかも価格が高騰していて大変です。メニュー内容や価格設定など、より一層の工夫や努力が必要だと感じています【飲食店】
- 相変わらずの、仕入れ価格高騰が続き経営内容悪化。いつまで(続くのか?)【和食料理店】
- 仕入単価のup、人件費upをいつ価格に転嫁していいのか悩みます【喫茶店】

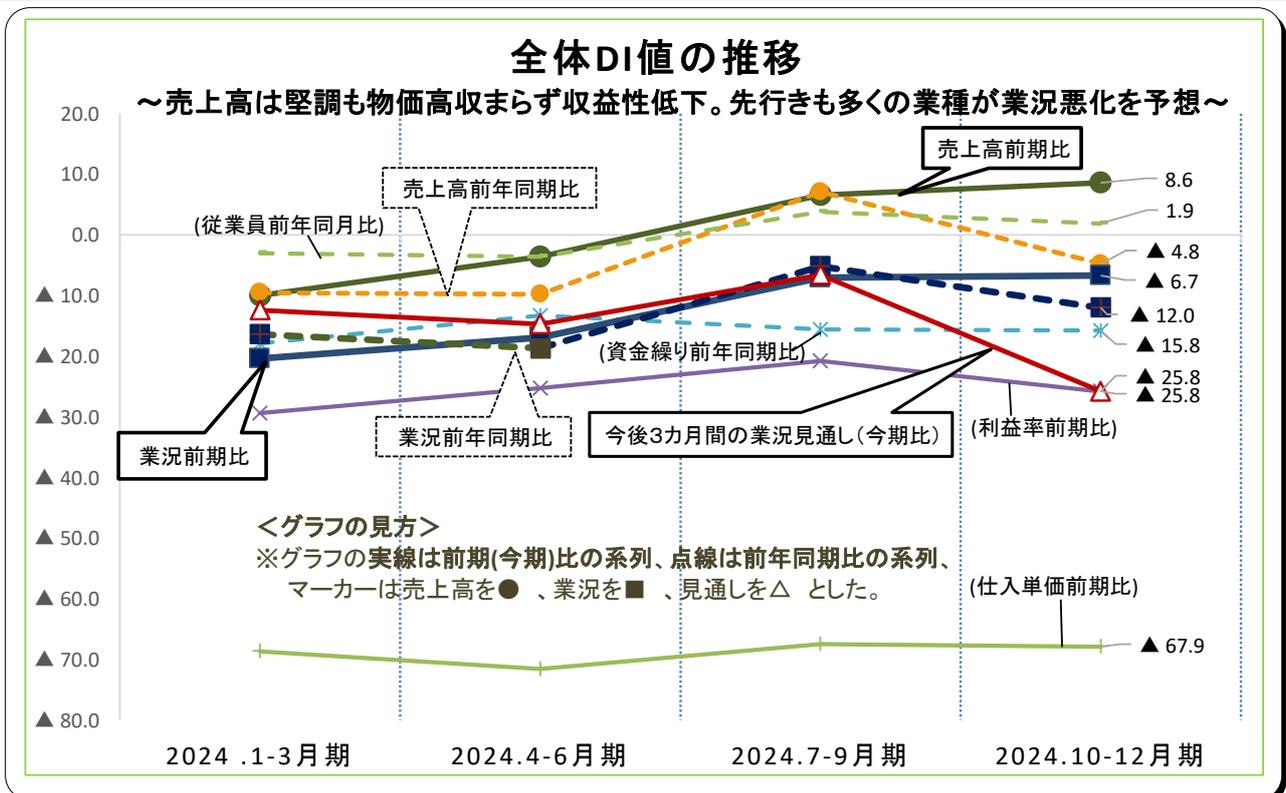
(3)全体DI値について

全 体 D I 値	前期(7~9月期)	今期(10~12月期)	比較増減
売上高前期比	6.6	8.6	2.0
売上高前年同期比	7.1	▲ 4.8	▲ 11.9
仕入単価前期比	▲ 67.5	▲ 67.9	▲ 0.4
利益率前期比	▲ 20.8	▲ 25.8	▲ 5.0
資金繰り前年同期比	▲ 15.6	▲ 15.8	▲ 0.2
従業員前年同期比	3.8	1.9	▲ 1.9
業況前期比	▲ 7.1	▲ 6.7	0.4
業況前年同期比	▲ 5.2	▲ 12.0	▲ 6.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 6.6	▲ 25.8	▲ 19.2

<動向について>

- ・10~12月期は売上高前期比DI、業況前期比DIともに全産業ベースでわずかに上昇したが、仕入単価DIはなお改善せず、諸経費高騰等も影響し利益率前期比DIは5.0ポイント低下した。
- ・業種別の業況前期比DIをみると、物価高騰や経費増大に悩む小売業が前期比17.2ポイント低下した。製造業種はその他製造業が15.9ポイント上昇の一方、輸送機器は9.6ポイント低下した。
- ・今後3か月間の業況見通しDIは、全産業ベースで前回は19.2ポイント低下。建設業を除く全業種が悪化を予想し、特に製造2業種が共に30ポイント超、小売・サービス業も20ポイント超の低下見込む。

全体DI値の推移	2024.1-3月期	2024.4-6月期	2024.7-9月期	2024.10-12月期
売上高前期比	▲ 10.0	▲ 3.6	6.6	8.6
売上高前年同期比	▲ 9.5	▲ 9.8	7.1	▲ 4.8
仕入単価前期比	▲ 68.7	▲ 71.6	▲ 67.5	▲ 67.9
利益率前期比	▲ 29.4	▲ 25.3	▲ 20.8	▲ 25.8
資金繰り前年同期比	▲ 17.9	▲ 13.3	▲ 15.6	▲ 15.8
従業員前年同期比	▲ 3.0	▲ 3.6	3.8	1.9
業況前期比	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 7.1	▲ 6.7
業況前年同期比	▲ 16.4	▲ 18.7	▲ 5.2	▲ 12.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.4	▲ 14.7	▲ 6.6	▲ 25.8



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、3か月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	6.2	▲ 13.3	-	-
建設業	17.1	▲ 10.0	-	-
卸売業	13.0	▲ 5.3	-	-
小売業	▲ 6.9	▲ 22.2	-	-
サービス業	11.8	▲ 3.2	-	-
全体	8.6	▲ 11.3	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 12.3	-	▲ 9.1	2.5
建設業	4.9	-	▲ 5.1	
卸売業	▲ 13.0	-	▲ 4.0	1.8
小売業	▲ 27.6	-	▲ 6.6	
サービス業	13.7	-	10.4	
全体	▲ 4.8	-	▲ 2.3	1.9

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 58.5	-	▲ 60.3	-
建設業	▲ 63.4	-	▲ 68.2	-
卸売業	▲ 87.0	-	▲ 64.9	-
小売業	▲ 79.3	-	▲ 70.5	-
サービス業	▲ 68.6	-	▲ 62.8	-
全体	▲ 67.9	-	▲ 64.8	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 16.9	▲ 23.8	▲ 20.3	▲ 4.0
建設業	▲ 12.2	▲ 20.0	▲ 14.0	
卸売業	▲ 8.7	▲ 15.8	▲ 15.5	
小売業	▲ 58.6	▲ 31.7	▲ 22.3	▲ 0.8
サービス業	▲ 37.3	▲ 21.5	▲ 8.4	
全体	▲ 25.8	▲ 23.9	▲ 16.0	▲ 1.6

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 20.0	▲ 16.2	▲ 14.3	9.0
建設業	▲ 2.4	▲ 8.1	▲ 7.2	
卸売業	▲ 13.0	▲ 11.0	▲ 7.7	
小売業	▲ 24.1	▲ 21.8	▲ 17.7	13.0
サービス業	▲ 17.7	▲ 11.4	▲ 9.3	
全体	▲ 15.8	▲ 14.6	▲ 11.7	12.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	6.2	▲ 4.4	－	－
建設業	2.4	▲ 3.4	－	－
卸売業	4.4	▲ 2.4	－	－
小売業	▲ 6.9	▲ 4.9	－	－
サービス業	0.0	▲ 3.1	－	－
全体	1.9	▲ 3.7	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 10.8	▲ 20.2	－	1.0
建設業	7.3	▲ 9.7	－	20.0
卸売業	▲ 4.4	▲ 13.7	－	7.0
小売業	▲ 37.9	▲ 29.2	－	7.0
サービス業	3.9	▲ 12.2	－	27.0
全体	▲ 6.7	▲ 18.0	－	10.0

(サービス業は宿泊・飲食の数字)

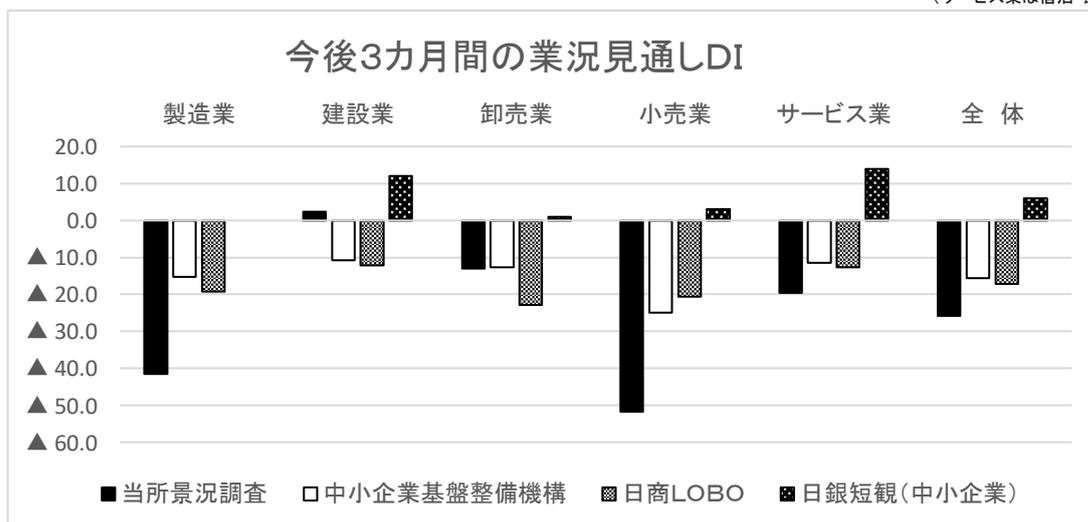
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 15.4	－	▲ 21.3	－
建設業	9.8	－	▲ 11.9	－
卸売業	▲ 26.1	－	▲ 20.9	－
小売業	▲ 48.3	－	▲ 22.5	－
サービス業	2.0	－	▲ 6.3	－
全体	▲ 12.0	－	▲ 16.0	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 41.5	▲ 15.2	▲ 19.2	0.0
建設業	2.4	▲ 10.8	▲ 12.2	12.0
卸売業	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 22.8	1.0
小売業	▲ 51.7	▲ 25.0	▲ 20.7	3.0
サービス業	▲ 19.6	▲ 11.4	▲ 12.6	14.0
全体	▲ 25.8	▲ 15.6	▲ 17.1	6.0

(サービス業は宿泊・飲食の数字)



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2025年(令和7年)1月28日 発行